

SAIDAIJI JC REPORT



VOL. 2

新会員紹介

新会員研修会

地球市民委員会委員 赤木朋央

新会員の赤木朋央です。今年で34歳、二十路をすぎ早4年が経ちました。

昨年10月に入会して5カ月が経ち、少しずつ青年会議所の活動が分かりだしました。

現在3月に行われる新会員研修会のアトラクションに向けて練習をしています。

体を張ったアトラクションにするため34歳の体に鞭を打っています。練習の翌日は必ず筋肉痛になります。

当日はトップバッターみたいなのでみんなに印象付けるよう頑張ります。

又、野球大会に向けて猛特訓もしています。早朝練習は少し辛いけど一生懸命頑張ろうと思います。

今年も3月になり、残り9カ月自分に与えられた活動及び行事には出来る限り参加し、皆様の力になりたいと思います。

地域を盛り上げるために

地球市民委員会 一井暁子

皆様、こんにちは。

青年会議所の活動は多岐にわたっていますが、1月に入会したばかりで既に、地域で暮らし、働いている私たちが地域に貢献する活動の大切さや素晴らしさを感じています。具体的には、2月に行われた「子どもはだかまつり」です。スタッフとして働かせていただく中で、西大寺の歴史的な伝統行事である会陽と地域の子どもたちをつなぎ、子どもたちに誇りと喜びを与える活動の重みを実感することができました。

地球市民委員会に所属してい

ますので、吉井川フェスタもぜひ成功させたいです。

まだ入会して日が浅く、分からないことも多いですが、自分なりに全力を尽くしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

入会しての抱負

地球ふるさと委員会 藤原辰徳

「やる時にはやる。やるからにはやる。」

お誘い頂く際に理事長がくれた言葉です。自分自身、普段から怠け癖が強く、何事もスタートが遅れがちで典型的な「自己中心的」タイプの人間であると思っております。そんな自分を成長させたい・・・と、いうよりも懲らしめて反省させたい。という思いから自分磨きの場として入会させて頂きました。と同時に、昔からTVや漫画本のヒーロー像や

最近では映画のストーリーにしても「少数鋭精」というチーム・物語が大好きで、西大寺JCTとは正に「少数鋭精」ではないでしょうか。各イベントはもちろん、新会員研修会、野球大会・・・全てにおいて「やる時にはやる。やるからにはやる。」で岡山には西大寺ありと（笑）そんな思いです。1年間頑張らせて頂きますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

入会しての抱負

地球ふるさと委員会 宗石幸治

2008年度新会員の宗石幸治です。職業は調理師で、実家兼勤務先の魚八寿しにて主に追い回し兼仕入れ兼皿洗い兼ウエイター兼事務を担当しています。西大寺JCTでは早くも幽霊会員っぷりが定着しつつある私です

が、JCTの活動に参加させていただくにあたり密かに設けたテーマがあります。

それは“限界を突破する”ということ。これは仕事や能力や社交性を8割のところまでセーブしがちな自分に対するテーマです。今は魚八寿しを二代目として継承していくにあたり重要な時期でやらねばならない事が山のようにあります。その中でJCTの会員として地域に貢献していくためには仕事の効率化、そして個人のスキルアップが欠かせない、つまりいまの自分の限界と思われるものを超える必要があるのです。

とまあ大袈裟に書きましたが、こんな事は常日頃から皆さんが繰り返しやっておられる作業だと思いますので、よい方法がありましたらアドバイスをお願いします。

今の時点ではあまりお役に立つことはできてないとは思いますが、これから1分1秒でも長く活

動に参加できるように頑張りますので皆さん生暖かい目で見守ってやってください。

京都会議

京都会議に参加して

広報渉外委員会 新免 上嗣

1月19日、20日の両日京都市内で開催された社団法人日本青年会議所京都会議へ参加しました。

会場到着時には全国から参加された各地青年会議所の方々の迫力・想い・熱気を感じ志を同じくする人たちがこんなにもいるのかと思ひ、驚きと共にとても力強い気持ちになることができました。

また、京都会議で行われた小田会頭の演説において本年度の日

本青年会議所スローガンである「高い志と使命感によるローカルコミュニケーション復活！ 気高き日本の創造！」についての演説が行われました。

演説にて「LOMでの充実した活動を通じて地域の自信と誇りを取り戻そう」と言われているのを聞き、私達も岡山西大寺地区を再来年に500周年に迫った西大寺会陽はだか祭、そして吉井川の恵を守り残していこうという吉井川フェスタ、この二つを中心により一層盛り上げていけるよう心新たにすることができました。



第37回少年はだか祭り

「第37回少年はだか祭」を終えて

地球ふるさと委員会

副委員長 小野田 竜也

平成20年2月16日「第37回少年はだか祭り」が行われました。今年も近年まれにない寒い中での開催となったせいか、子供の人数も例年より少ない420名の参加でした。しかし、いざ争奪が始まると子供達の熱気あふれる争奪戦が繰り広げられ子供たちにも思い出に残るものになったと思います。

なにより、大きな事故が無かつた事がとても良かったのではないかと思います。今年も小川委員長のもと私自身、委員会の副委員長として参加させていただきましたが委員会に遅れることも多く、メンバーの皆さんに多大なるご迷惑をおかけしました。その分、委員会メンバーの皆さんが十分

に穴を埋めてくれたので大変感謝をしております。

細かいところではまだまだ不十分なところもありましたが、今年も宝筒争奪の警備も新しく試みること事で不安ではありませんでしたが実際にはスムーズな運営が出来たと個人的には思いました。反省点もいくつかありますが来年以降にもしっかりと引き継いで、今後より良い運営が出来るようにしていきたいと思えます。

最後になりますが、他団体の方々、OBの先輩方、そして西大寺J.Cのメンバーの皆さんに改めて感謝を申し上げます。



中国地区 岡山ブロック協議会 新会員研修会

中国地区 岡山ブロック協議会
新会員研修会

親睦研修委員会

委員長 坪井 綾広

新会員の登竜門とも言つべき、新会員研修会も例年に増して力を入れたものになりました。薬師寺 大谷徹装先生を講師に迎えての講演会では「縁」についてお話を頂き、分科会では採点付の一分間スピーチ、そして懇親会では、寝る間も惜しんで練習をした事が伺い知れるアトラクションは本当に素晴らしいものでした。」C二信条にある「修練・奉仕・友情」で言えばこの新会員研修会は「修練と友情に当たるのでしようか、私は研修会の担当委員会としてそれを目の当たりにしました。

研修会一番の課題である懇親

会アトラクションでは、西大寺の本年度スローガン「恵」を強調すべく裸祭りをイメージしたアトラクションに挑みました。日本体育大学の応援「エッサッサ」をアレンジした応援「ワッショイショイ」は単純な応援スタイルでありながら、新会員六名が息を合わせて演じるには、筋肉痛になるほどの練習が必要でした。しかしながらこの練習を通じ、「皆でやる」と言う一つの目標が友情を育んだように思います。また本番では仕事で感じえる事はないであろう緊張感が自己を奮い立たせ、無我夢中の演技はまさに「恵」を感じさせるものでありました。アトラクションの順位的には結果を残す事が出来ませんでした。例年に無い程の練習を重ねた事、皆で一つの演技をした事がロムの資質を高め、また私達の力を知る事が出来たように思います。修練を重ね自分を知り、皆で目標を掲げて友情を育む。そんな有難い



「恵」を与えて頂ける「JC」の「縁」に感謝致します。

発行日：平成20年4月吉日

発行責任者：花島 功一

編集責任者：中山 稔之

発行所：社団法人
西大寺青年会議所

行事予定

5月14日 5月例会
5月25日 ブロックじゃがいも大会
5月29日～6月1日 ASPAC
6月11日 6月例会
6月15日 ブロック会員大会
6月29日 真庭JC45周年
7月09日 7月例会